



株式会社イナホスポーツ

「泳いできたえよう ころとからだ」をテーマに 地域の健康づくりをサポート



株式会社 イナホスポーツ
代表取締役 **丸笹 公嗣** 氏

北本市に本社を構えるイナホスポーツは、「スウィン」の名称で現在埼玉県内に7校、群馬県内に5校、計12校のスイミングスクールを運営している。このうち4校ではスポーツクラブを併設しており、「サンティアスポーツクラブ」の名称でも群馬県に1施設を展開する。創業以来40年以上にわたり、子供たちの健全育成や地域住民の健康増進に大きく寄与している。

2019年からは地元の北本中学校における水泳授業の受託を開始。多くの学校でプール施設の老朽化や指導人員不足などが課題となるなか、現在では他の自治体にもエリアを広げ、行政と連携しながら学校の水泳授業を積極的に請け負っている。「泳いできたえよう ころとからだ」をテーマに掲げる同社のこれまでの取り組みのほか、選手・コーチの育成や今後の事業展開などについて、代表の丸笹公嗣氏にお話を伺った。

LEADER'S PROFILE

1954年11月、埼玉県北本市生まれ。77年早稲田大学を卒業後、父親が75年に立ち上げた大宮スイミングスクールにコーチとして入社。88年にイナホスポーツへ移籍し、94年代表取締役就任。現在はスウィンスイミンググループ会長のほか、埼玉県水泳連盟監事、北本市水泳連盟会長を務める。趣味は釣りウォーキング。とくに鮎のトモ釣りが好きで、鮎漁が解禁される毎年6月頃から秋頃まで、1シーズンに十数回は楽しむという太公望。場所選びによって釣果に差が出ることから、早朝から渡良瀬川や鬼怒川に出かけ、膝までつかるような瀬で自然を満喫している。「もう十年も続けていますが、水泳と同じで釣りは非常に奥が深いです」と語る。

北関東エリアに拠点を構える10社で スウィンググループを形成

—まず「スウィンググループ」について教えてくださいませんか。

我々が属しているスウィンスイミンググループとは、東京、埼玉、群馬、栃木、福島の1都4県で計42スクールを運営する10社の集まりです。かつては各社ともイトマンスイミングスクール(イトマンSS)グループに加盟していて、北関東イトマンSSグループとして運営していたのですが、イトマンSSが予備校の「東進ハイスクール」を展開するナガセに買収されることになったため、2007年10月に北関東イトマンSSグループ全体でイト

マンから別れて独立し、新たにスウィンググループとしての活動を始めるようになりました。私が現在のスウィンググループ会長を務めていますが、グループ自体はフランチャイズ方式のような組織ではなく、各社の立場はみな対等です。月に1回はこのスウィン北本校に集まり、情報共有などを行っています。

—社長ご自身はどのような経緯でスイミングのお仕事に就かれるようになったのですか。

私の学生時代は、中学校、高校、大学とずっとサッカー部に所属していて、サッカー漬けの日々を送ってきました。水泳はまったく畑違いのスポーツでしたが、父の影響からか泳ぎはもともと得意でしたので、大学4年の在学中に現在の基礎水



泳指導員という資格にあたる第2種水泳指導員を取得しました。1977年に大学を卒業したタイミングで、父が75年に立ち上げていた現在の大宮スイミングスクール（スウィン大宮スイミングスクール）にコーチとして入社しました。その後82年に大宮スイミングスクールから分社化するようなかたちでイナホスポーツは設立され、88年に父が亡くなったことで、しばらくして私が代表を務めることになりました。現在に至るまで40年以上にわたり、地域の方々に支えられながら今こうして営業を続けることができています。

—現在はコロナ禍でスクール運営などご苦労されているのではないのでしょうか。

2020年春の最初の緊急事態宣言下では一斉に臨時休業を余儀なくされましたし、子供たちは屋外で遊ぶこともままならないような状況でしたので大変苦労しました。春は新規入会がもっとも多いシーズンなのですが、新規での募集も当然のことながらまったくできませんでした。

今では感染症対策をしっかりと行いながらレッスンもほぼ元どおりに戻り、子供たちをはじめ会員の皆様が安心して体を動かせるようになってきましたが、やはり以前とまったく同じというわけにはいきません。以前は親御さんたちがレッスン風景を自由に観覧したりしていたのですが、今では極力密な状態にならないように観覧時間を限定するなど、親御さんたちにもご理解とご協力をいただきながら運営しています。

オリンピック代表選手を3大会連続で輩出

—スイミングスクールでは具体的にどのようなプログラムが行われているのでしょうか。

赤ちゃんから80歳、90歳を超えるようなシニアの方まで、あらゆる世代の方が利用できるスクールとして、多数のプログラムを用意し、会員各自の目的やレベルに応じた生涯スポーツとしての水泳指導に取り組んでいます。例えば親子ベビーコースであれば、水の中で親子が一緒に歌を歌ったり、楽しくスキンシップをはかったり、水の効

■イナホスポーツ運営の スイミングスクール・スポーツクラブ一覧

スウィン北本スイミングスクール	北本市本宿 1-1
スウィン鴻巣スイミングスクール スウィン鴻巣スポーツクラブ	鴻巣市加美 2-7-45
スウィン越谷スイミングスクール スウィン越谷スポーツクラブ	越谷市下間久里 384-1
スウィンふじみ野スイミングスクール	ふじみ野市ふじみ野 1-4-16
スウィンみよしスイミングスクール	入間郡三芳町藤久保 350-11
スウィン南越谷スイミングスクール	越谷市新越谷 1-31-1
スウィン美園スイミングスクール	さいたま市岩槻区美園東 1-8-5
スウィン新座スイミングスクール	新座市野火止 8-14-7
スウィン前橋スイミングスクール	前橋市下小出町 1-12-1
スウィン館林スイミングスクール スウィン館林スポーツクラブ	館林市大街道 1-10-25
スウィン高崎スイミングスクール	高崎市筑縄町 10-10
スウィン吉井スイミングスクール	高崎市吉井町本郷 58-1
スウィンあざみスイミングスクール スウィンあざみスポーツクラブ	みどり市笠懸町阿左 1140-1
サンティアスポーツクラブ	館林市近藤町 178

果・効用を生かした運動で赤ちゃんの発育・発達をサポートします。幼児コースであれば、遊びを取り入れた水慣れプログラムで楽しく練習しながら、ルールを守ることや、お友達と仲良くすること、話を聞くことなどを学べるようにレッスンしています。

—トップアスリートの育成も多数手掛けていらっしゃると思いますが、有望な選手などはどのように発掘されているのでしょうか。

選手コースでは、トップスイマーを目標にたくさんの子供たちが日々の練習に励んでいます。オリンピック代表としては、ロンドン大会とリオ大会に内田美希選手（スウィン館林所属）が、リオ大会と東京大会には酒井夏海選手（スウィン美園所属）が、それぞれ出場しているほか、数多くの世界大会や国体にトップアスリートを送り出しています。



育成に至るまでの経緯は選手によってさまざまですが、基本的にはジュニアの頃からコーチが普段の指導を通じて進み具合や身体の成長度合いなど、いろいろなポイントを丁寧にチェックして推薦し、最終的には親御さんともよく話し合っって選手コースにピックアップしていきます。才能ある将来のダイヤモンドの原石を見出し、世界に通用するスイマーを育てることは我々の大事な使命だと考えています。

埼玉県内で初めて学校授業を民間受託

——スクールの運営以外にはどのような取り組みに注力されているのでしょうか。

2019年から地元の北本中学校の生徒をスウィン北本に迎え入れ、学校単位で水泳の授業を請け負う取り組みを始めました。たまたま北本市のこの事業の担当職員の中に小さい頃からスウィンに通っていた子がいて、非常に意欲的に事業を進めてくれたこともあり、埼玉県内で初の水泳授業の民間委託先として我々が選定されました。現在では学校のプール施設の維持管理費が財政の大きな負担となっていることから、その後にさいたま市や三芳町からも小学校、中学校の水泳授業を受託するようになり、地元保育園や幼稚園とも提携し、積極的に水泳指導を実施しています。

昔とは違い、今は先生の教職課程から水泳が無くなったこともあり、先生たちでも泳げる先生ばかりではありません。我々の経験豊富なコーチが専門性の高い指導にあたることで、水に顔をつけるのが苦手という子から泳ぎの上手な子まで、泳



力別に幅広いレベルの子供たちに対応することができ、教職員の時間確保や負担軽減につながっています。希望する学校には、子供たちが服を着たまま急に水に落ちてしまっても慌てずに救助されるまで浮いていられるよう、着衣泳の指導も実施し、水害や水難での事故防止に努めています。——プロのコーチからの指導を学校の授業で受けられるのはとても魅力的ですね。スクールでのレッスンと違う点などはあるのでしょうか。

学校の授業では文部科学省の指導要領という明確な規定がありますので、授業の実施にあたっては事前に先生方との綿密な打ち合わせが必要です。規定では水泳授業は年8～10コマ実施する必要があるのですが、学校の屋外プールは天候に左右されがちで、授業を消化できないケースも出てきます。民間委託であれば天候やシーズンを問わず授業を実施できるため、メリットも大きいです。授業がある日はスクールバスで生徒さんたちを学校まで迎えに行き、授業が終わったら学校に送り届けています。

授業後の生徒さんの評価・成績付けについては、先生方がプールサイドで授業を見ていて評価する学校もあれば、評価・成績付けまでを含めて我々に委託される学校もあります。授業の民間委託はまだスタートしたばかりの取り組みなので、実際に事業を進めていくと細かい部分で違いがあることに気付かされます。



コーチ人材の育成をはじめ、社員が長く働ける環境を整備

——コーチの指導方法は時代とともに変わってきたりしているのでしょうか。

今はたとえ家庭内であっても、子供に対して暴力をふるったり、罵声を浴びせたりすることは良くないという考えが当たり前の世の中です。「強くなるためには厳しさが必要」という考え方や指導方法はだんだんと合わなくなってきました。最近では厳しさへの耐性が低い子や我慢をできない子供たちも多くなってきたような気がします。

今の親御さんたちの中には、自身が小学生や中学生だった当時にスイミングに通っていたOBやOGたちも少なくありません。そういう親御さんたちの中には、自身の経験も踏まえて「うちの子にも厳しく指導してやってください」というような方もいますが、現代ではなかなか難しいでしょう。今は子供たち一人ひとりの個性を尊重しながら、ただ単に上から言ってやらせるのではなく、温かく丁寧な指導が求められるようになっていきます。

——最近ではデジタル技術を取り入れたトレーニングを導入しているスクールなどがあると聞いていますが、そういった指導についてはどのようにお考えでしょうか。

確かに、スイミングスクールでもデジタルやAI（人工知能）の技術を指導に活用する動きが見られるようになってきました。これまでは一部のトップアスリートが中心だったデータ分析やフォーム解析などの技術を、一般の人でも活用できるようになっていくのは魅力的だと思います。泳ぎを撮影し、動画でチェックするような指導は我々も行っているのですが、将来的にはデジタル技術を活用していくことも時代の流れでしょう。まだまだ始まったばかりの技術でもありますので、動向を見ていきたいと考えています。

——コーチにはいろいろなスキルが求められるので、人材の育成や確保も難しそうですね。

スイミングコーチになるために、とくに何か特別な資格が必要だということはありません。スポ

ーツ系の大学や専門学校を卒業していなくても、水泳歴が短くても、コーチになることは可能です。ですが、やはり一般的な会社員とは違いますので、採用の難しさはあります。優れた選手が優れたコーチになれるというわけではなく、むしろ子どもが好きで人と接することが好きというような人間性の方が大事です。水泳歴が浅い人の方が、子供たちや泳げない人の立場で分かりやすく丁寧に、水泳の楽しさを伝えられるようなこともあります。

会社としては質の高い指導を提供できるよう、資格取得に向けた費用面の支援も行っています。幅広い層の会員を指導するためにも、コーチにはまず基礎水泳指導員の資格取得を推奨しています。さらに「トップアスリートを育てたい」「日本代表選手のコーチになりたい」というような、より高い目標を目指していくコーチには、より難易度の高い資格の取得に向けたバックアップも行っています。

——赤ちゃんや幼児コースの指導には女性の方が向いていそうな気もしますが、コーチ全体での男女比率はどのくらいでしょうか。

在籍しているコーチは6:4くらいで女性の方が多いです。私がコーチをしていた頃に短期間だけ幼児コースのレッスンを担当した経験があるのですが、子供たちを泣かせずにあやすことだけでも四苦八苦し、泳ぎ方のレッスン以前に疲れ果ててしまいました。もちろん男性コーチの中にも子供の扱いが上手い方はたくさんいますが、筋肉ムキムキの姿などは子供たちに少し抵抗感を与えるのかも知れません。

女性コーチの中には子供たちのお母さんやお婆ちゃんぐらいの年齢にあたるような、産休を経て現場復帰された方などいて、やはりそういうコーチの方が上手くコミュニケーションをとりながら指導してくれたりしています。ただどうしても女性の場合は年齢を重ねていくと人前で水着になったり、メイクを落としたりするのを嫌がる人が多くなってきますので、若い頃から長く勤めてもらえるような環境づくりや職場づくりが大事になってきます。



北本市の三宮市長（中央）、武蔵丘短期大学前学長の川合武司氏（左）との包括連携協定締結式

——社員の方が長く働けるよう、どのようなことに取り組まれているのでしょうか。

昔からコーチたちはプール消毒の塩素による肌荒れや喉枯れなどの職業病に悩まされてきましたので、「プールマイスター」というプール環境を改善するサービスを全施設に導入し、プールに長時間入っていても肌や髪に優しい水質を整えています。最近は食生活の変化からか、アレルギー体質や肌の弱い子供たちも増えてきていますので、水質についてはコーチたちにとってだけでなく、会員さんや親御さんたちにとっても重要なポイントになってきています。その他にも社員が長く働けるよう、福利厚生の活用や充実に意欲的に取り組んでおり、「ハタラクエール」という制度の認証を

受けたり、社員の健康に配慮した健康経営に取り組む企業であるとして「埼玉県健康経営実践事業所」の認定を受けたりしています。人に健康を指導するには、まず自分たちが健康でないといけませんから、会社全体でしっかりとした健康管理を心がけています。

地域に密着し、生涯スポーツを支える存在に

——地域との関わりは今後どのように考えられていますか。

このコロナ禍でまだ思うような活動がなかなかできていない状況ですが、2019年7月に我々と北本市、武蔵丘短期大学（吉見町）の3者で、「北本市のまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。今後は教育や健康、地域の魅力発信など、さまざまな取り組みを産学官で協働して進めていく予定です。もっと学校授業を通じた指導も進めていきたいと考えていますし、スポーツを楽しむ幅をもっと広げていきたいです。

少子化により学校の生徒数は減り、学校の働き方改革による先生方の負担軽減の観点などからも、学校は放課後の部活動の運営などもだんだんと難しくなっているようです。我々もスイミングスクールとして何かサポートできることはないか



2月にオープンする「スウィン新座スイミングスクール」



ということを常に模索しながら、行政やいろいろな企業、学校なども連携していきたいと考えています。

——2月には新座校が新たに開校されますが、今後のスクール展開はどのようにお考えですか。

スイミングスクールとしては13校目となる、「スウィン新座スイミングスクール」を埼玉県新座市に2月にオープンいたします。今後も埼玉、群馬エリアを中心としたスクールの展開方針に変わりはありませんが、施設を建てられる敷地面積や建設投資額の確保も重要になりますので、時期やエリアを吟味しながら検討していきたいと思えます。既存施設も年々老朽化していきますので、リニューアル工事なども適切に実施していかなければなりません。

コロナ禍が続く現在では、屋外での活動が減り、家で過ごす時間が長くなっていく傾向にあります。健康寿命の延伸が奨励されていくなかで、将来的にスポーツ志向が高まっていくのは確かでしょう。水泳は水中で腰痛や膝痛などケガのリスクも限りなく小さく、子供からお年寄りまで何歳の方でも無理なく始められるスポーツです。野球やサッカーのように右利き、左利きといった偏りもないのでバランスがよく、脳の働きにも効果的だとされています。スクールやスポーツクラブにいけば知り合いがいて楽しいという常連さんも増えてきており、そういった方たちがさらに知り合いの方を紹介してくれたりします。これからも地域

取材後記

武蔵野銀行北本支店

三浦 貞則 支店長



株式会社イナホスポーツ様は、1978年7月に北本市にスイミングスクールを開設し、埼玉・群馬に現在12校を展開しており、2022年2月には13校目となる「スウィン新座スイミングスクール」をオープンいたします。多くのオリンピック代表選手を輩出する県内有数のスイミングスクールとして、トップアスリートの育成だけでなく、赤ちゃんから90歳を超えるシニアの方まで利用できる多数のプログラムを用意し、生涯スポーツとしての取組みを提案しています。

埼玉県内初の学校水泳授業の民間委託先として、現在では北本中学校だけでなく、他の自治体にもエリアを拡げ、地域の教育や健康増進にも意欲的に取り組まれております。当行といたしましても、株式会社イナホスポーツ様のさらなる発展のお役に立てるよう、これからも尽力して参ります。

に密着し、スポーツをする人をもっと幅広く増やしていければと考えています。皆さんの心と身体への健康づくりにもっと貢献できるよう頑張りたいです。



■ 株式会社イナホスポーツ 概要

設立：1982年1月18日

資本金：1,600万円

従業員：約320名

事業内容：スイミングスクール・スポーツクラブの企画・運営など

本社所在地：北本市本宿1-1

取引店：北本支店